

無線LANで通信実験！ 色々な場所で通信速度を調べてみよう

目標

Android端末を利用して、通信場所が変わると無線LANの通信速度がどのように変化するのか調査します。また、特殊な機材を使って通信中に空中を飛び交うデータの中身も見てみます。

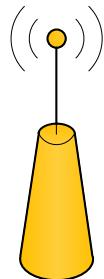
学べること

- ・ インターネット技術
 - ・ 無線LAN通信の仕組み
 - ・ 通信機器およびデータ解析ソフトの利用方法
 - ・ データの解析方法

実施日・内容

- 第1回：8月23日（火）4時間程度
 - 通信と無線LANの基礎に関する講義
 - 機材の使い方講習とデータ取得
 - 第2回：8月24日（水）4時間程度
 - データ取得および解析
 - まとめ、発表資料の作成

※上記日程の都合が合わない場合、8月4日（木）も
短縮した内容で受講可能です
※教科書などは、当日、必要に応じて貸し出します。



WLAN



データ取得の様子

The figure shows a Wireshark capture of IEEE 802.11 traffic. The packet list pane shows frames 320991 to 320994, all of which are IEEE 802.11 Acknowledgments (ACKs) from the source host (192.168.1.3) to the destination host (192.168.1.2). The details pane shows the frame structure, including fields like Source, Destination, Protocol, Info, and Flags. The bytes pane shows the raw hex and ASCII data for each frame. A red circle highlights the first ACK frame (320991). The status bar at the bottom indicates the frame is 1092 bytes long and has been displayed.

PCIに特殊な機器を付けてAndroid端末から出ているデータを観測